

在宅取組型 (小学校)

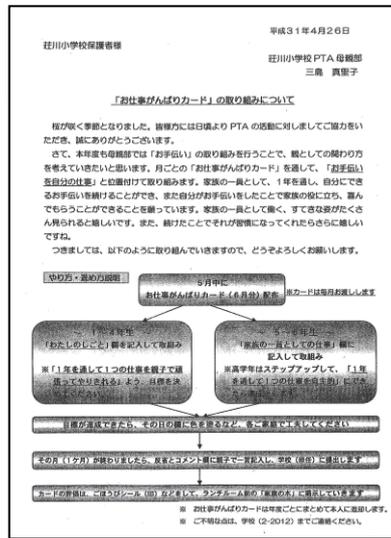


学校名等	高山市立荘川小学校
実施日時	令和元年4月～令和2年2月 (毎月一回)
会場	各家庭
参加人数	全校児童 (54名)・保護者
学習課題 (分野)	お仕事ががんばりカード
運営者の願い	子どもが、自分のできるお手伝いを続けることを通して、親は頑張りを受け、子どもには家族の一員としての貢献感を持たせたい。

学習の内容

<取組の流れ>

- ① 4月：取組について、保護者に文書でお願いをする
- ② カードの配付：6月からスタート (年に9回)
- ③ 1～4年生「わたしのしごと」、5・6年生「家族の一員としての仕事」を各自決めて取り組む (低学年は、保護者と相談して決める)
- ④ 1か月の取組後、カードに親子で一言コメントを記入し学校に提出
- ⑤ カードを「家族の木」に掲示
- ⑥ 2月：「母親便り」にてまとめの報告
- ⑦ 1年間のカードをまとめ、本人に返却



母親委員による計画的で積極的な活動

- ◎ 数年来継続している取組を、意義あるものとして価値づけ、各家庭での取組を大切にしたい。
- ◎ 「お手伝い」を通して子どもを成長させることや、親の関わりから自己肯定感を高めるための具体的なお願いを、保護者に丁寧に伝えた。

家族みんなの協力あつての取組

- ◎ 子どもたちが、お手伝いを「自分の仕事」と意識し取り組むことには、家族の協力や見届けがあった。
- ◎ 「ありがとう。助かったよ。じょうずだね。」などの言葉かけにより、親子の笑顔のコミュニケーションを深めた。

「わが家の約束」運動の取組

全家庭で「約束づくり」⇒「親子の会話」⇒「カードに記録」⇒「家族の木に掲示」が、年9回の取組で定着し、子どもの成長の足跡のひとつとなっている。



ランチルーム前の「家族の木」に「がんばりカード」を掲示

【お手伝いの事例】

- *新聞の取り入れ
- *犬のえさやり
- *風呂そうじ
- *廊下そうじ
- *ごはんをよそう

【保護者のコメント】

- *洗濯物たたみが続けていたら、とても上手になり感謝しています。
- *食器運びでは、落とさない方法を考えることができるようになりました。
- *寒い時にも、よくやりました。今月も毎日ありがとう。
- *自分の仕事だという意識をもてるとういです。
- *おばあちゃんを、手伝ってくれてありがとう。
- *大そうじでも、きれいにしてくれてありがとう。

<保護者の感想>

- 5年生の息子は玄関掃除に取り組んだが、床面の目に沿ってほうきの毛先を当てて掃く方法を教えることができた。
- 学校だけでなく、家庭でも何か一つ役割があることはよいことだと思う。
- 家庭の仕事に目を向けてくれるようになり、自分にはできることは何か?と考えて行動する姿に、子どもの成長を感じ嬉しかった。

<取組の成果>

- お手伝いを達成できたことが、次のお手伝いのやる気につながり、取組内容の幅が広がった。また、だんだん要領よくお手伝いができるようになった。
- 学年が上がるにつれ、お手伝いの内容に子どもの成長がみられた。
- 「がんばりカード」があったことで、色塗りを楽しみながら進んで取り組むことができた。
- 進んで取り組み、家族に褒められたことが、子どもの自信や自立心につながった。